※令和４年度以降入学生用

学校番号	103

令和８年度　地理歴史科

教科	地理歴史	科目	地理総合	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書	「わたしたちの地理総合」（山川出版社）						
副教材等	「わたしたちの地理総合ワークブック」（山川出版社）「新詳高等地図」（帝国書院）						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

身近にある課題が地球規模で取り組むべき SDGｓと関連していることを構造的に捉え，因果関係図を用いて整理できるよう授業を展開する。また，地球規模だけでなく，地域規模でも課題を構造的に捉え，複眼的に課題解決の方法を構想することができるよう考察させる。その際に，地球市民としての自覚だけでなく，地域住民としてのあり方も考え，課題解決のための具体的な行動を主体的におこそうとする姿勢を育むことを目指す。

学習ﾂｰﾙについては，副教材を日常的に使用するだけではなく，ICT を用いて視覚的に単元内容の理解を深め、効果的なタイミングで動画視聴等を計画していく。

２　学習の到達目標

a:地理に関わる諸事象に関して，世界の生活文化の多様性や，防災，地域や地球的課題への取組などを理解する。

b: 地理に関わる事象の意味や意義，特色や相互の関連を，位置や分布，場所，人間と自然環境との相互依存関係，空間的相互依存作用，地域などに着目して，考察，構想したことを効果的に説明したり，それらを基に議論したりする力を養う。

c: 地理に関わる諸事象について，よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究，解決しようとする態度を養う。

３　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	知識：地理に関わる諸事象に関して，世界の生活文化の多様性や，防災，地域や地球的課題への取組などを理解する。 技能：地図や地理情報システムなどを用いて，調査や諸資料から地理に関するさまざまな情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。	地理に関わる事象の意味や意義，特色や相互の関連を，位置や分布，場所，人間と自然環境との相互依存関係，空間的相互依存作用，地域などに着目して，概念などを活用して多面的・多角的に考察したり，地理的な課題の解決に向けて構想したりする力や，考察，構想したことを効果的に説明したり，それらを基に議論したりする力を養う。	地理に関わる諸事象について，よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究，解決しようとする態度を養うとともに，多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚，我が国の国土に対する愛情，世界の諸地域の多様な生活文化を尊重しようとすることの大切さについての自覚などを深める。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

※令和４年度以降入学生用

４　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1学期	1章 地図とGISの活用	1節 地理情報と地図 2節 国家の領域と領土問題 3節 国内や国家間の結びつき 4節 日常生活のさまざまな地図	a：国家の領域に関する知識を身につけ，海洋の役割，領土問題について理解している。 b：日本の位置と領域について世界的視野から捉え，日本の領域をめぐる問題を考察し，まとめることができる。 c：身の回りのさまざまな地図・資料に興味を持ち，積極的に活用しようとし，多面的に考察しようとしている。	○確認テスト ○定期考査(中間期末) ○作図・読図課題	○確認テスト ○定期考査(中間期末) ○作図・読図課題	○観察評価 ○提出物
	2章 生活文化の多様性と国際理解	1節 自然環境と生活文化 2節 産業の発展と生活文化	a：ケッペンの気候区分と植生分布の関連性を理解し，自然環境が人々の生活文化や産業，伝統の形成などに深く関わり，また諸要素が相互に関連しあっていることを理解している。 　アジア各地の事例地域の学習を通して主題図や写真，グラフなどの資料から経済活動の発展を読み取ることができる。 b：地形や気候などの自然環境と人々の生活文化の関係性について，雨温図や主題図，写真など複数の資料を関連させながら説明することができる。 　アジア各地の事例地域の学習を通して，経済活動の発展とグローバル化を複数の資料から動態的に捉え，立地なども関連させながら多角的に考察し，まとめることができる。 c：身近な商品がグローバル化の進む産業構造の中に位置づけられることを捉え，産業と自分との関わりについて意欲的に探究しようとしている。			

※令和４年度以降入学生用

２学期	２章 生活文化の多様性と国際理解	3節 言語・宗教と生活文化 4節 グローバル化の進展と生活文化	a: 世界の言語や宗教，民族に関わる現代社会の諸課題の背景や現状を概観することができる。 地域統合やグローバル化による成長と課題，生活文化の変容について，主題図や写真などの資料から読み取ることができる。 b: 世界の言語や宗教，民族に関わる現代世界の諸課題がおこっている複雑な背景を構造的に認識することができる。 地域統合やグローバル化について，主題図や写真などの複数の資料を関連させて多面的に考察している。 c: グローバル化が自分の生活と繋がっていることを踏まえて，グローバル社会に対する自分なりの意見をもとうとしている。	○確認テスト ○定期考査（中間期末） ○作図・読図課題	○確認テスト ○定期考査（中間期末） ○作図・読図課題	○観察評価 ○提出物
	３章 地球的課題と国際協力	1節 人口・食料問題 2節 居住・都市問題 3節 資源・エネルギー問題 4節 地球環境問題	a: 途上国と先進国では異なる都市問題が発生していることを，主題図や写真などから判読できる。 エネルギー資源の持続可能な利活用と安定供給を実現するために，再生可能エネルギーや省エネルギー技術，鉱産資源のリサイクルについて理解できる。 b:地域問題を構造的に捉え，SDGsの目標ふまえて世界的視野から対策を考察することができる。 地球環境を守り持続可能な発展を実現するために，国際的な協力体制が必要なだけでなく，その背後にある政治・経済的な課題解決も求められることを考察している。 c: 日常生活でエネルギー資源を利用していることを自覚し，化石燃料や再生可能エネルギー，リサイクル，技術開発などについて意欲的に調査・考察し，エネルギーの在り方について自分なりの意見を持つことができる。			

※令和４年度以降入学生用

３学期	４章 生活圏の諸課題	1節 自然環境と防災 2節 持続可能な地域づくり	a: 日本列島の地形や気候の成り立ちと多様性について，主題図やグラフ，写真などの資料から理解できる。 自分の生活圏における防災や減災の取り組みについて，新旧地形図やハザードマップなどを読み取る技能を身につけている。 地域調査の一連の手順を理解し，景観観察やアンケート・聞き取り調査など，さまざまな調査方法を活用できる。 b: 世界の災害を日本と比較しながら捉え，人口密度や社会的基盤の脆弱性などの社会環境によっても，被害が大きくなることを考察できる。 事前調査や現地調査で明らかになった地域の魅力や課題を踏まえ，地域のあり方を分析・考察し，身近な地域の将来像を構想できる。 c: 日本の自然環境と災害の特徴とつながりについて当事者として関心をもち，防災意識を高めることができる。 身近な地域にさまざまな魅力や課題があることを見出し，意欲的に地域調査に取り組んでいる。	○確認テスト ○定期考査（中間期末） ○作図・読図課題	○確認テスト ○定期考査（中間期末） ○作図・読図課題	○観察評価 ○提出物

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度